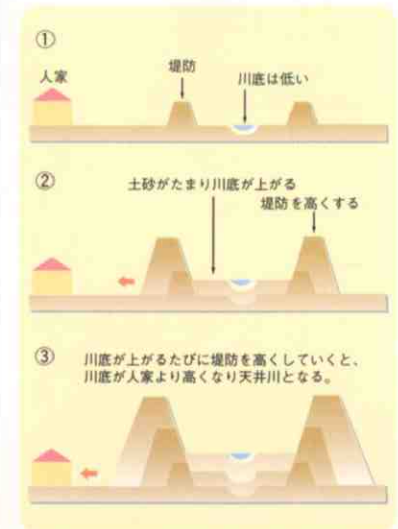


# 天井川のできるまで

扇状地などで土砂が堆積して、私達が暮らしている地面よりも高い場所に流れている川があります。それを「天井川」といいます。ではいったい、天井川はどのようにしてできるのでしょうか。

- ①扇状地などでは上流から運ばれた土砂が堆積しやすく、川底が高くなっていきます。そこで人々は、川から水があふれないように堤防を築いたり、堤防を高くします。
- ②やがて時間が経つと、さらに川底に土砂が堆積し、川底が高くなっていきます。
- ③人々は、再び水があふれないように、よりいっそう堤防を高くします。



このような過程を繰り返すことにより、私達の暮らす地面よりも高い場所に流れる天井川は形成されていきます。つまり天井川とは、自然と人間が長い年月をかけて作りだした川なのです。

出典：土木学会関西支部編「川のなんでも辞典」講談社（ブルーバックス）／一部加筆。

**「湧き水の里をつくりだした高時川**

「梅雨時や台風などの洪水による強い流れが上流の土砂を運び、高時川を「天井川」にしました。天井川は一たび切れると危険な川ですが、反面、恵みをもたらす川でもあるんです。川の流れが伏流水となって地下にもぐっても、昔の川の流れが「地下のパイプ」のように残っていて、それを通じて地域全体に豊かな水

が行き渡っているのです。この水はいろんなところまで「湧き水」となって顔を出し、流域の人々の暮らしを支えてきました。湧き水は地表を流れる水よりも飲料水に適していますからね。」

「この地域には紀元前250〜260年前には既に人が住みつきました。高月町の保延寺あたりには竪穴式住居、掘っ立て柱の建物など、大規模集落の遺跡が見つっていますが、これもその一例でしょうね。山と川の両方で猟ができ、豊富な水にも恵まれた地……早くから人々が農耕を行い集落を築いたのも当然です」

昔から高時川流域の人々は川の被害を防ぎつつ、また、その恵みを受けながら暮らしてきました。



伊香具坂神社付近に今も残る湧き水

しかし、これは天からの「贈り物」であり流域への「恵み」であると吉田さんは指摘します。

「春先は農耕のために最も水の必要な時期ですが、雪解け水に恵まれない地方では水不足になることがあります。その点、高時川など降雪地から流れ出る川はそうした心配が少なく、農耕を営む地域にとってもありがたい川なんです。だから、これらの地域では「雪の多い年は豊作だ」と言われているんですね。その意味では、高時川は「冬の間の雪の恵み」をもたらす川だとも言えます」



「おこない」の神事／湖北町

**地域の文化に残る「恵み」への感謝**

高時川が農耕に大きな恵みをもたらしていることへの感謝の現れの一つが、湖北地方に古くから伝わっている村のましまりの中心行事・「おこない」の神事です。

1月から3月にかけて、あちこちの神社で豊作を祈る「祈念祭」が行われます。

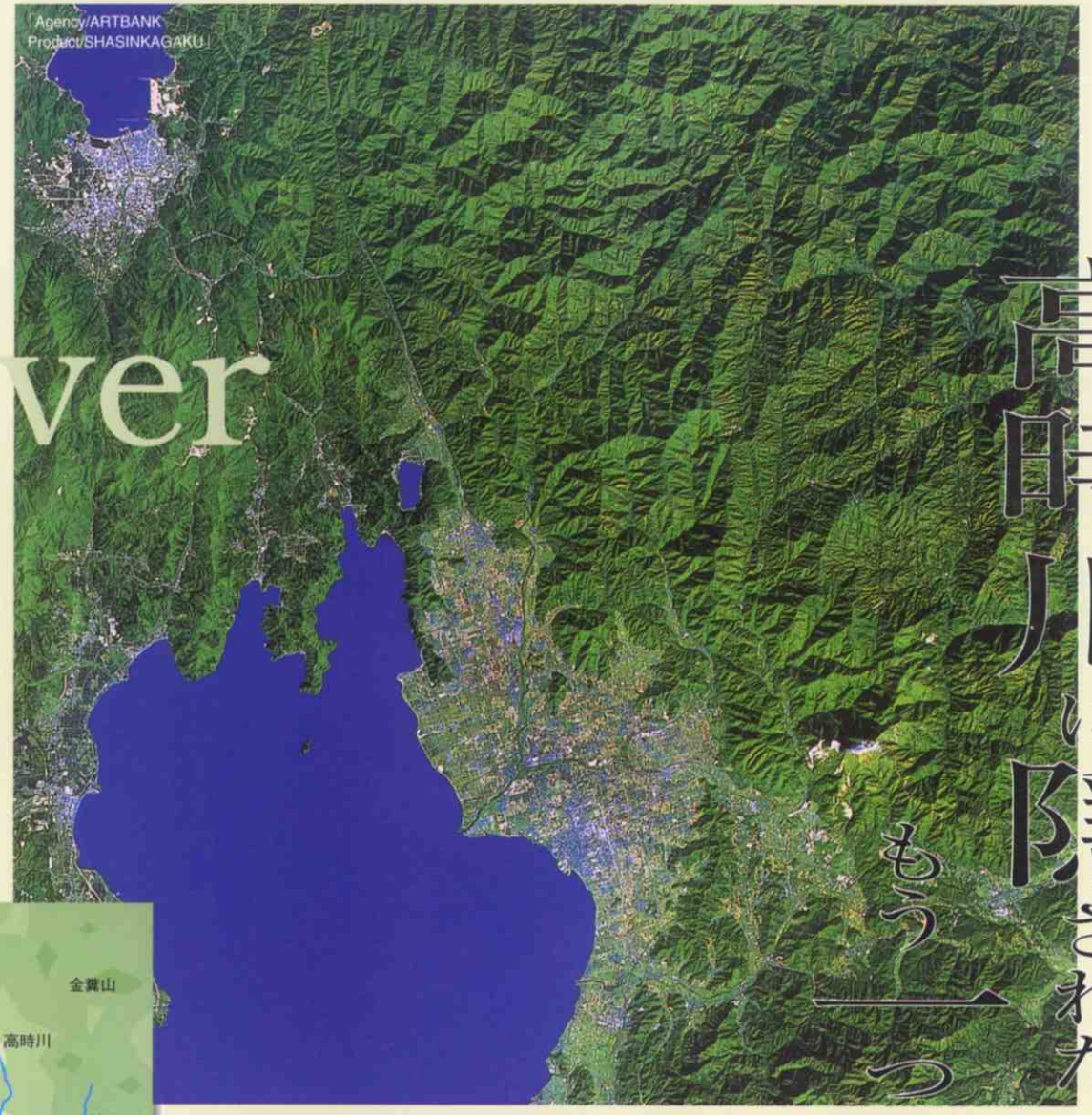
「一部では「おこない」の神事でマユの豊作を祈って「まゆ玉」をつくるころもありますが、これもまたかつて高時川がこの地へもたらした恵みへの感謝なのです。桑畑に適した高時川流域の地質、そしてできた製品を都へ運ぶ「水運」の歴史もあるでしょう」

同じように、伊吹山系に降った大量の雨を琵琶湖に運んでいる姉川にも、川の恵み・雨の恵みへの感謝を暗示させる民話が伝わっているといえます。

## 営みの基本は「自然との共存」

このように、私たちの先人の営みの基本は、自然との共存、特にいかに水を治め、いかに水をうまく利用するかにあります。農耕はもちろん、暮らしの源は水にこそあるからです。過去は当然、現在、そして未来にわたってもこのことは変わらないでしょう。

# Takatoki River



天井川、暴れ川……といわれるように“恐ろしい川”として知られる高時川。しかし、高時川は荒々しい顔の裏に、実は豊かな恵みをもたらす“もう一つの顔”を持っています。そこには、この地の地形と気候がもたらす大自然のドラマが秘められています。

# 高時川に隠された、もう一つの顔



吉田隆昌さん  
1943年生まれ  
現在、滋賀県土木部河港課副参事。

高時川の歴史や流域の地形や気候に詳しい、湖北地方にお住まいの吉田隆昌さんに、お話をうかがいました。

◆ **「雪の恵み」を運ぶ高時川**

「湖北一帯の中で、高時川流域は気候が他とは異なっています。ここは北陸性気候なんですよ」

高時川流域の西北方面は山が低く、地理的に日本海に通じる「空気の通路」になっています。日本海から流れてきた雪雲が金嶺山にぶつかって大量の雪を降らせるわけです。高時川流域は南よりも北からの影響が強い地域であり、それは地形によってもたらされたといえます。

「だから、高時川では台風や前線による洪水だけでなく、融雪災害も発生するのが特徴です。北陸性気候のために冬の間は大量に降り積もった雪が春先に解けて洪水になるパターンですね。県内の他の河川とは少し異なっている点だと言えます」